

(様式3)

公共事業再評価調書

番 号	道路-2		事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路鴨居上飯田線整備事業 (本宿・二俣川地区 外1)			採択年度	S63年	
施工場所	旭区本宿町～さちが丘			経過年数	26年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>鴨居上飯田線は体系的な道路ネットワークの整備を推進するにあたり必要となる延長約 13 km の重要な幹線道路です。本地区を整備することにより、地域拠点である相鉄二俣川駅南口周辺の交通混雑の緩和及び保土ヶ谷バイパス南本宿インターチェンジへのアクセス向上を図ります。</p> <p>平成 20 年度に本宿・二俣川地区の再評価を実施しており、今回においては、連続する区間であるさちが丘地区（平成 17 年度事業化）も併せて再評価とします。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長 1,630m、幅員 18～28.5m(往復2車線)、用地面積 30,707 m²</p>					
			当 初(事業採択時)	変 更(平成 25 年度)		
	事業期間		昭和 63 年度～平成 20 年度	昭和 63 年度～平成 27 年度		
	事業費	合 計		6,731 百万円	19,551 百万円	
		国 費		3,366 百万円	9,776 百万円	
		市 費		3,365 百万円	9,775 百万円	
	変更内容	「本宿・二俣川地区」に隣接して「さちが丘地区」が平成 17 年度に事業化しており、今回は 2 地区を合わせて再評価とします。				
	上位計画等の位置付け	本市の「中期4か年計画」において、「基本政策 施策 27 交通ネットワークの充実による都市基盤の強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。 また、本市の減災対策として今年度策定された「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。				
	関連事業	事業区間内において、路線に隣接する二俣川駅南口における市街地再開発事業が進められています。				
	事業の 必要性	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業区間に隣接する二俣川駅南口の再開発事業が進み、再開発事業完了後の交通需要への対応など重要性は高くなっている。			
事業の投資効果				事業全体	残 事 業	
		割引率		4%(2%)		
		総便益(B)		394 億円 (587 億円)	—	
		総費用(C)		239 億円 (174 億円)	—	
		費用便益比(B/C)		1.6 (3.4)	—	
		感度分析 [交通量-10%]		1.1 (2.2)	—	
[その他特記事項]						
B/Cの算定にない事業効果	地域の生活道路に流入している通過交通が適正に本路線へ転換することにより、住宅地の生活環境が改善され、歩行者の安全確保等も図られます。また、隣接する再開発事業により交通量も増加するため、道路整備により周辺地域の渋滞、混雑緩和が図られます。さらに、周辺幹線道路とのネットワークが強化され、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。					
残事業の内容	—					

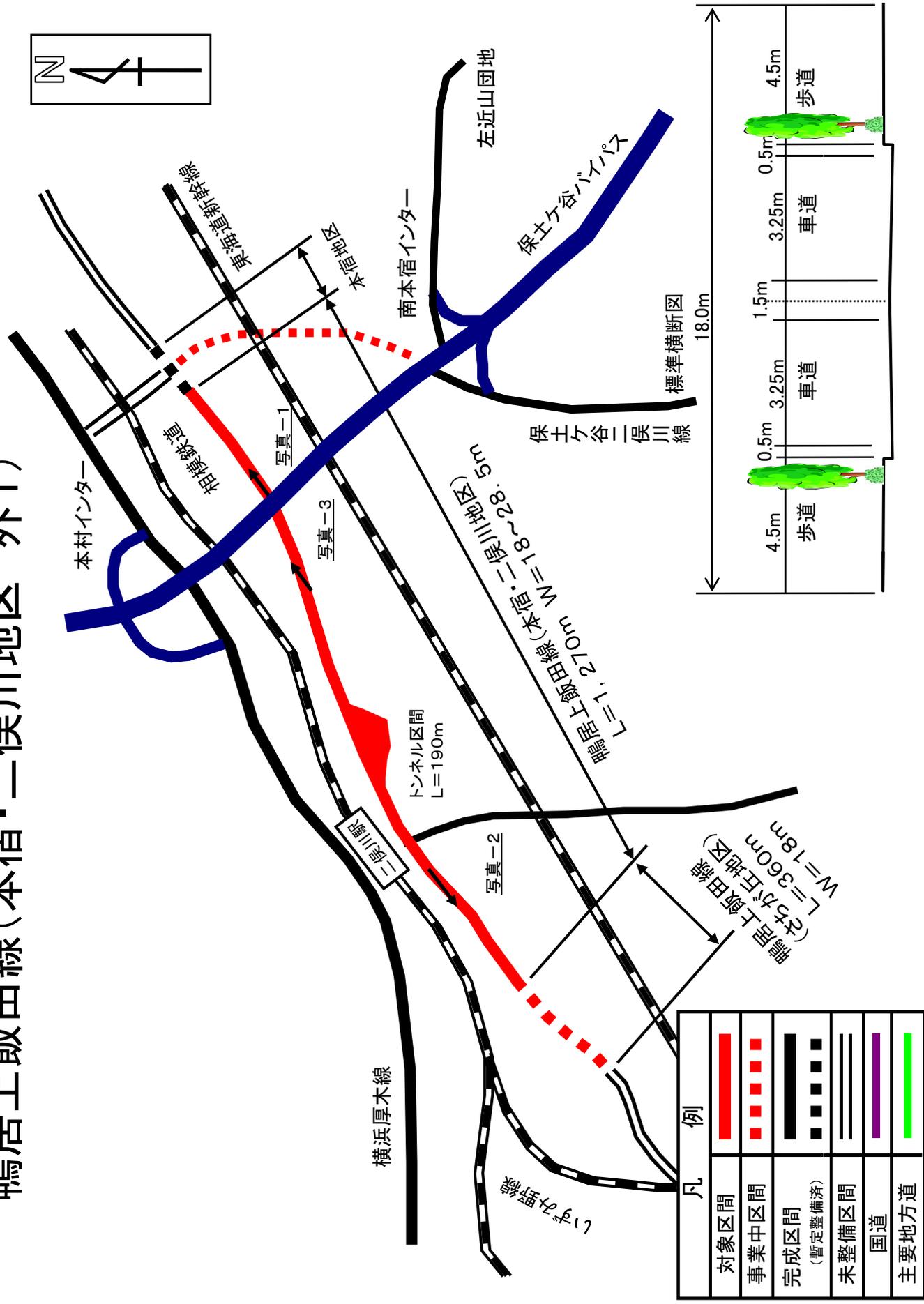
事業の進捗状況	事業進捗率%	東西から二俣川駅に向かって事業を進めておりましたが、二俣川駅南口の再開発事業の状況に合わせ、二俣川駅付近の整備に重点をおいて事業を進めております。	
	73%		
	用地取得率%		
	90%		
	供用等の状況		
—			
事業の課題及び進捗見込み	本地区は丘陵地となっており、現況交通の分断箇所も多く、地元や関係機関との協議に時間を要するとともに、地権者との交渉に時間を要しています。 引き続き、再開発事業と併せて道路整備も進めていきます。		
代替案立案等の可能性	—		
その他コスト削減項目等	舗装、構造物等の築造については、設計の段階から可能な限りコスト削減に努めます。 また、隣接する再開発事業と同時期に事業を進めることにより、より効率的・経済的な施工方法で進めます。		
過去の委員会からの意見等	委員会年度	意見具申等	意見具申等に対する対応状況
	平成 15 年度	緑化の充実を図るとともに短期で効果的な道路ネットワークを形成すること。	緑化等に配慮しながら道路整備を行い、短期で効果的な道路ネットワーク形成に努力しています。
	平成 20 年度	特になし	—
その他	—		
対応方針(案)	継続	計画通り(上記計画を実施)※1	
		一部見直し(上記計画を変更)※2	
		【見直し内容】	
中止			

対応方針案とした理由	既存の生活道路の安全性の確保や、周辺路線との交通機能を強化するために事業を継続する必要があると判断しています。駅へのアクセス改善も含め隣接する再開発事業により交通量も増加するため、道路整備により周辺地域の渋滞、混雑緩和が図られるため、今後も早期整備に向け事業を推進してまいります。
------------	--

※1:既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2:今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区 外1)



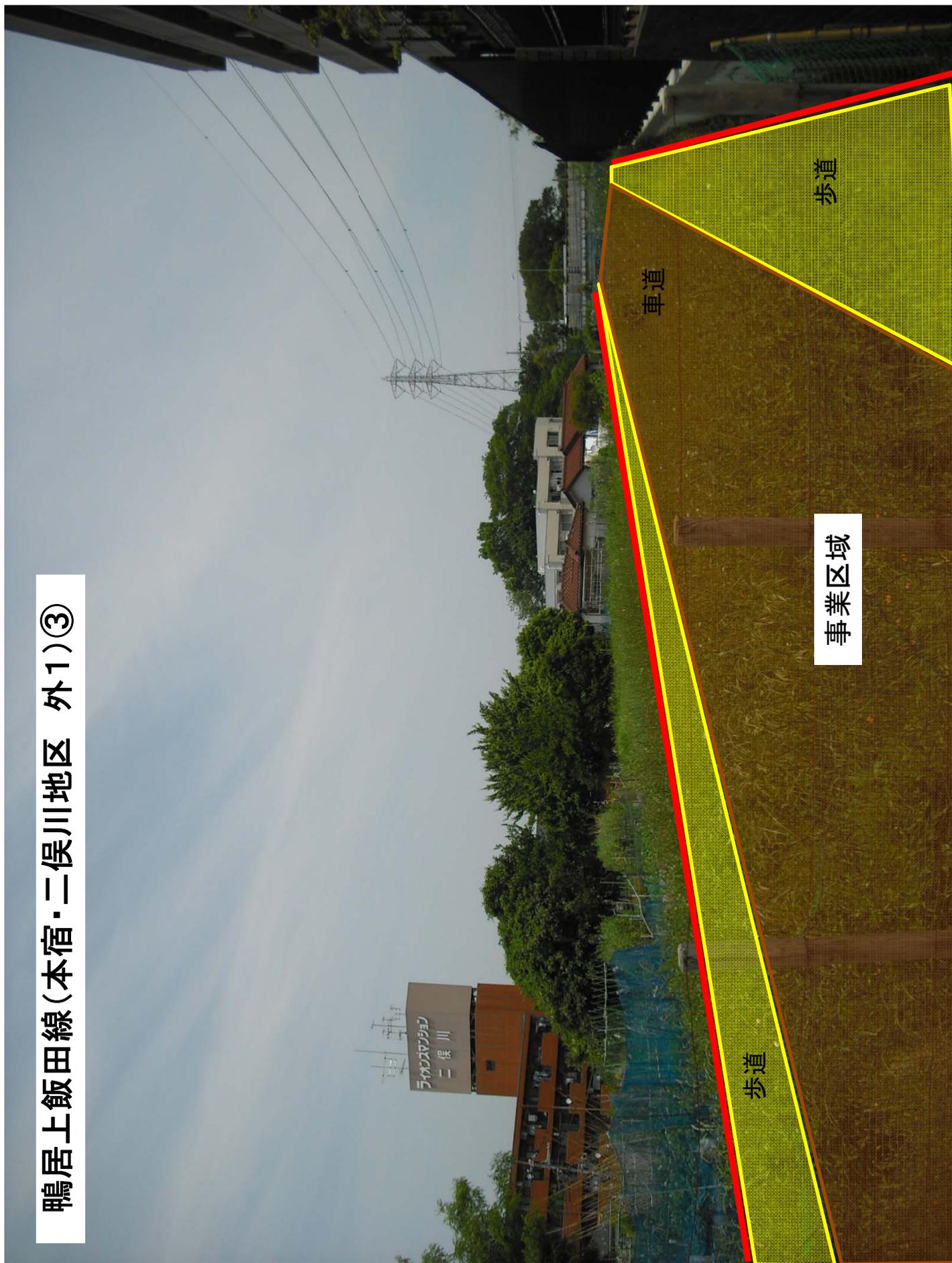
鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区 外1)①



鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区 外1)②



鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区 外1)③



事業進捗状況

鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区 外1)

(単位：百万円)

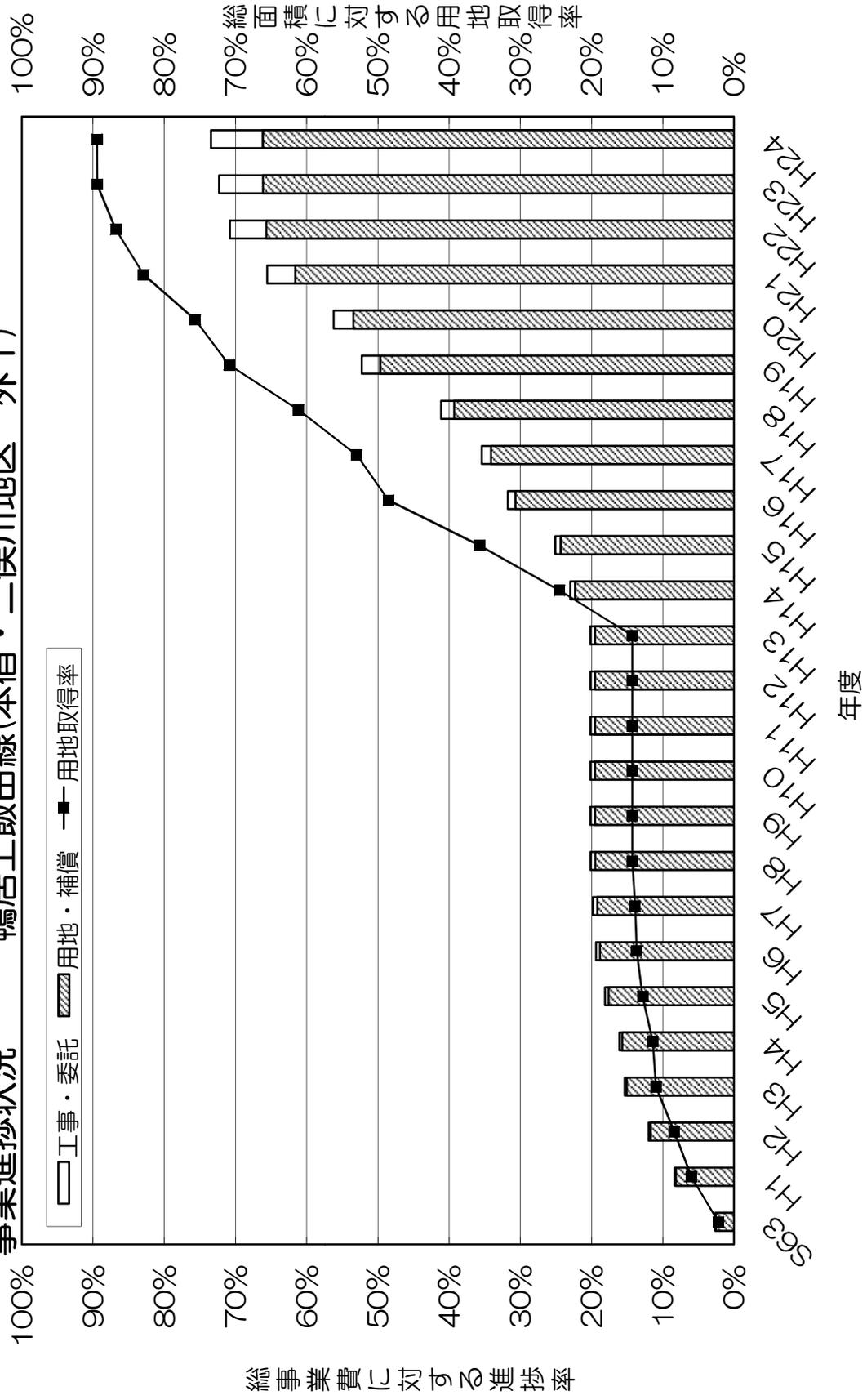
年度	単年度事業費		事業進捗率			用地取得			
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
S63	510	498	12	2.6%	2.5%	0.1%	665	665	2.2%
H1	1,116	1,101	15	8.3%	8.2%	0.1%	1,167	1,832	6.0%
H2	718	692	26	12.0%	11.7%	0.3%	731	2,563	8.3%
H3	657	651	6	15.3%	15.0%	0.3%	802	3,365	11.0%
H4	143	129	14	16.1%	15.7%	0.4%	136	3,501	11.4%
H5	393	370	23	18.1%	17.6%	0.5%	436	3,937	12.8%
H6	250	238	12	19.4%	18.8%	0.6%	253	4,190	13.6%
H7	87	75	12	19.8%	19.2%	0.6%	71	4,261	13.9%
H8	62	58	4	20.1%	19.5%	0.6%	123	4,384	14.3%
H9	8	8	0	20.2%	19.5%	0.6%	0	4,384	14.3%
H10	0	0	0	20.2%	19.5%	0.6%	0	4,384	14.3%
H11	0	0	0	20.2%	19.5%	0.6%	0	4,384	14.3%
H12	0	0	0	20.2%	19.5%	0.6%	0	4,384	14.3%
H13	0	0	0	20.2%	19.5%	0.6%	0	4,384	14.3%
H14	545	545	0	23.0%	22.3%	0.6%	3,138	7,522	24.5%
H15	417	398	19	25.1%	24.4%	0.7%	3,448	10,970	35.7%
H16	1,301	1,241	60	31.7%	30.7%	1.0%	3,922	14,892	48.5%
H17	712	668	44	35.4%	34.1%	1.3%	1,371	16,263	53.0%
H18	1,121	1,012	109	41.1%	39.3%	1.8%	2,507	18,770	61.1%
H19	2,180	2,030	150	52.3%	49.7%	2.6%	2,996	21,766	70.9%
H20	774	739	35	56.2%	53.5%	2.8%	1,461	23,227	75.6%
H21	1,824	1,595	229	65.6%	61.6%	3.9%	2,231	25,458	82.9%
H22	1,020	793	227	70.8%	65.7%	5.1%	1,196	26,654	86.8%
H23	300	94	206	72.3%	66.2%	6.2%	799	27,453	89.4%
H24	222	3	219	73.4%	66.2%	7.3%	16	27,469	89.5%
合計	14,360	12,938	1,422				27,469		

※1 事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率(用地補償、工事委託)は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況 鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区 外1)



前回再評価内容との比較 都市計画道路鴨居上飯田線（本宿・二俣川地区 外1）

	前回（H20）	今回（H25）	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>二俣川駅周辺は、横浜厚木線の本村地区、四季美台地区の完成により、北口の交通環境は改善されています。</p> <p>二俣川駅周辺の地域拠点としての機能性向上のため、南口も再開発事業の準備が進んでおり、再開発後の交通需要への対応など、本路線の重要性が高まっています。</p>	<p>二俣川駅周辺の地域拠点としての機能性向上のための南口再開発事業において、平成24年度に組合が設立され、事業が進められています。</p> <p>再開発後の交通需要への対応を含め、本路線の重要性は高い状況となっています。</p>	<p>平成17年に隣接するさちが丘地区が事業化され、1,630mの区間を整備しております。</p> <p>二俣川駅南口の再開発事業において平成24年に組合が設立し、事業が進められています。</p>
事業進捗率	57%（56%）	73%	+16%
用地取得率	82%（76%）	90%	+8%
供用等の状況	—	—	新規供用無し
事業の進捗見込	<p>本地区は、急峻な地形を通過するため、現況交通の分断箇所が多く、構造的な検討及び地元調整や、再開発事業との調整に時間を要していましたが、概ねそれらの調整の目途がついたため、今後は鋭意工事を進め、平成27年度に完成する予定です。</p>	<p>地元調整を含め、用地買収も徐々に進んできております。再開発事業との施工に関わる協議も進んでおり、早急に工事を進めていく予定です。</p>	<p>引き続き、二俣川駅周辺の用地買収および工事を早急に進めていきます。</p>

前回委員会での主な意見等	特になし
--------------	------

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として新事業費での事業進捗率を（ ）で示した。

二俣川駅南口地区市街地再開発事業概要

1 事業概要

- ・ 施行者の名称：二俣川駅南口地区市街地再開発組合
- ・ 地区の位置：二俣川駅南口地区(二俣川駅に隣接する旭区二俣川2丁目の一部)
- ・ 地区の面積：約1.9ha
- ・ 施設概要
 - 交通広場：面積約4,400㎡(再開発区域内の整備範囲は約3,100㎡)
 - 商業業務棟：15階建
 - 商業貸床面積：約10,000㎡(3フロア合計で横浜駅西口ダイヤモンド地下街とほぼ同面積)
 - 業務施設：約9,100㎡(地域ケアプラザ約600㎡含む)
 - 住宅棟：29階建、高さ約99m、住宅戸数約380戸
- ・ 総事業費：約353億円
- ・ 補助金総額：約85億円(市費負担額約19億円)

※隣接する都市計画道路「鴨居上飯田線」と調整を図り事業を進めていきます。

2 経緯と今後の予定スケジュール

- 平成17年11月18日 市街地再開発準備組合発足
- 平成23年10月14日 市街地再開発事業の都市計画決定
- 平成24年12月28日 「二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業」組合設立認可
- 平成25年度 権利変換計画認可(予定)
- 平成26年度 再開発ビル工事着手(予定)
- 平成29年度末 再開発ビル完成(予定)



3 事業区域図・イメージパース

